

India Weekly

2019年12月16日

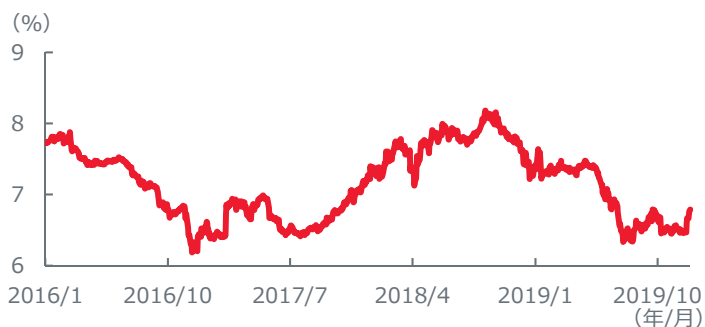


(対象期間 : 2019/12/9~2019/12/13)

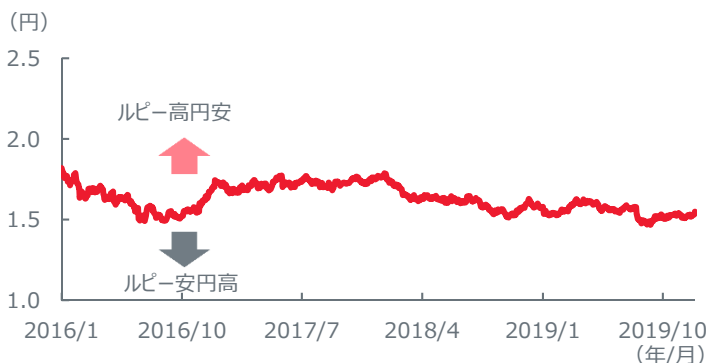
【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日~2019年12月13日)



【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2019年12月13日)



【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日~2019年12月13日)



【株式市場】

週初のインド株式市場は小動きとなりましたが、10日は利益確定売りに押されて下落しました。11日はノンバンクに対する支援策への期待などから上昇しました。12日は、前日に内閣が破産倒産法の修正や部分信用保証スキームの条件緩和を承認したことが好感されて続伸しました。13日は、米中貿易協議や英国の下院総選挙を巡る懸念が後退してアジア株式市場が全面高となる中でインド株も連れ高となり、週間でも上昇しました。

2019/12/6	2019/12/13	変化率
40,445.15	41,009.71	+1.40%

【債券市場】

インド10年国債利回りは、10日に外国人投資家の売りが出たと見られ上昇（価格は下落）しました。11日は、米大手格付会社がインドの経済成長が回復しなければ格付けを引き下げる可能性があるとしたことが嫌気されて、利回りは上昇しました。12日は取引時間終了後に発表される消費者物価指数（CPI）への警戒感から利回りはさらに上昇し、実際に発表されたCPI上昇率が市場予想を上回ったことを受けて13日も利回り上昇となりました。

2019/12/6	2019/12/13	変化幅
6.666	6.786	+0.120

【為替市場】

週半ばまで原油価格が軟調となったことなどからルピーは対米ドルで上昇しました。その後原油は反発しましたが、投資家のリスク選好姿勢の強まりに支えられてルピーは底堅さを維持し、週間でも上昇しました。一方、円が対米ドルで下落したことから、ルピーは対円でも上昇となりました。

2019/12/6	2019/12/13	変化率
1.522	1.549	+1.76%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。